

日本社会保障法学会会報第44号

発行日：2018.4.1 発行人：加藤智章 編集人：片桐由喜 発行：日本社会保障法学会
本部事務局住所：〒047-8501 北海道小樽市緑3丁目5-21 小樽商科大学商学部 片桐研究室気付
Tel：0134-27-5367 Fax：0134-27-5367 E-mail：sslaw@res.otaru-uc.ac.jp
URL：http://www.jassl.jp/ 会員数：519名（2018年4月1日現在）

次期代表理事就任のご挨拶

新田秀樹（中央大学）

この度、加藤智章代表理事の後任として、本年5月の学会開催時より2年間、代表理事の職を務めさせていただくこととなりました。正直なところ青天の霹靂であり、重責に耐えうるか甚だ心許ないものがありますが、会員の皆さま方のお力添えを賜りながら、学会の発展のために微力を尽くしたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度は、学会の開催が春と秋の年2回から春のみの年1回に切り替わることに伴い、学会誌の発行時期をはじめとする諸々の学会運営日程等が大きく変わる年となりますので、まずはこうした変化に適切に対応し、これまでどおりの円滑な学会運営を継続することができるよう努める所存です。

少子高齢化、低経済成長、財政悪化をはじめとする社会経済情勢の変化により社会保障制度の議論の焦点が利益の分配から負担の分配に移行したといわれるようになってからかなりの時が経ちましたが、社会保障に関わる諸学は、分配の在り方についての十全の答えを用意するには必ずしも至っておりません。規範の学である社会保障法学においては、この問題の解決に向けての貢献が特に期待されているのではないかと思います。

本学会においては、これまでの代表理事の先生方が、会員数の漸減傾向が続く中でも、多様な知識や見解を自由闊達に交換する場としての学会の形成・維持に尽力されてこられました。このことに改めて思いをいたし、本学会が社会の負託に応えて国民の健康にして文化的な生活の確保に貢献するための研究を、その内部における議論においても対外的な情報発信においても推進していくための方策を、会員の皆さま方とともに考えていきたいと思っております。皆さま方のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

第73回大会開催案内

事務局長 片桐由喜（小樽商科大学）

日本社会保障法学会第73回大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

・日 時：2018年5月19日（土） 14：00～17：00

5月20日（日） 9：20～17：00

・会 場：早稲田大学早稲田キャンパス（〒169-8050 東京都新宿区戸塚町1-104）

大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾をご参照ください。

シンポジウム、総会の会場等につきましては、5月に入り、学会ホームページでお知らせしますので、ご確認ください。

お問い合わせ先 Tel：03-5286-1853（早稲田大学 菊池馨実研究室）

・大会次第（詳細につきましてはレジュメ集をご覧ください。）

受付開始	5月19日	13:30
	5月20日	8:50
開会	5月19日	14:00
	5月20日	9:20

2018年5月19日（土）ミニシンポジウム

「障害のある人の人権と家族・にない手の人権－津久井やまゆり園殺傷事件を契機に－」

司会：木下秀雄理事(龍谷大学)

○金川めぐみ（和歌山大学）…………… 14:00～14:10
「趣旨説明」

○矢嶋里絵（首都大学東京）…………… 14:10～14:40
「知的障がい者の意思決定・自立・地域生活－津久井やまゆり園殺傷事件を契機に」

○鈴木静（愛媛大学）…………… 14:40～15:10
「社会福祉施設および人権のにない手としての福祉労働－津久井やまゆり園殺傷事件を契機に」

○井上英夫（佛教大学）…………… 15:10～15:40
「共生社会と人権としての社会保障－津久井やまゆり園殺傷事件が社会保障法学に問いかけるもの」

休憩…………… 15:40～15:50

○質疑応答…………… 15:50～17:00

2018年5月20日（日）全体シンポジウム

「わが国における社会保障法学の展開」

○増田幸弘（日本女子大学） 「趣旨説明」…………… 9:20～9:30

第1セッション「社会保障法と労働法の関係」 司会：加藤智章（北海道大学）

○報告1 水島郁子（大阪大学）…………… 9:30～10:05
「社会保障法と労働法の関係性－独自性の発揮と連携の模索」

○報告2 丸谷浩介（九州大学）…………… 10:05～10:40
「社会保障法と労働法の相互作用－老齢年金を中心に」

○コメント 良永彌太郎（熊本大学）…………… 10:40～11:00

休憩…………… 11:00～11:20

○フロアとの対話…………… 11:20～12:30

開催校あいさつ・総会 12:30～13:00

休憩（昼食） 13:00～14:00

第2セッション 「社会保障法における体系論と権利論・再考」 司会：増田幸弘（日本女子大学）

○報告1 山田晋（広島修道大学） 14:00～14:35

「戦後社会保障法学における体系論－背景・評価・将来」

○報告2 秋元美世（東洋大学） 14:35～15:10

「社会保障の権利論の再考－給付・サービスを受給する権利をめぐる」

○コメント 阿部和光（久留米大学） 15:10～15:30

休憩 15:30～15:50

○フロアとの対話 15:50～17:00

大会終了 17:00（予定）

※同封の大会出欠確認はがきに必要事項を記載の上、**2018年5月7日（月）**までにご返送いただきますようお願いいたします。

※昼食を希望される方は、大会出欠確認はがきの「2. 昼食」の「要」に○をつけてください。昼食を希望された方は、大会当日、受付にて昼食券を購入してください。代金は1,000円です。なお、昼食券を申し込みされた方は必ずご購入ください。

※懇親会の参加を希望される方は、大会出欠確認はがきの「3. 懇親会」の「出席」に○をつけてください。懇親会の参加を希望された方は、大会当日、受付にて懇親会券を購入してください。代金は6,000円です。懇親会の会場は、大隈ガーデンハウス（25号館。大隈講堂裏手）です。

企画委員会からのお知らせ 企画委員長 高田清恵（琉球大学）

第73回大会は、2018年5月19日（土）・20日（日）の2日間、早稲田大学で開催します。年1回大会の最初の年となる本大会では、大会2日目に「わが国における社会保障法学の展開」を共通テーマとする2セッション構成の全体企画を行います。増田幸弘理事会員の全体の趣旨説明の後、第1セッション「社会保障法と労働法の関係」では水島郁子会員、丸谷浩介会員の報告と良永彌太郎会員によるコメント、第2セッション「社会保障法における体系論と権利論・再考」では山田晋会員、秋元美世会員の報告と阿部和光会員によるコメントを予定しています。大会1日目のミニシンポジウム「障害のある人の人権と家族・にない手の人権－津久井やまゆり園殺傷事件を契機に－」では金川めぐみ会員の趣旨説明、矢嶋里絵会員、鈴木静会員、井上英夫会員の各報告があります。個別報告のエントリーはありません。

第74回大会は、2019年5月25日（土）・26日（日）の2日間、愛媛大学で開催される予定です。全体シンポジウムは「社会法における高齢者特有の法的課題－高齢者法の視角から(仮)」をテーマに、秋元美世理事・関ふ佐子理事を中心に準備が進められています。報告者には関会員のほか、原田啓一郎会員、川久保寛会員、西村淳会員、柳澤武会員が予定されています。

また、2つのミニシンポジウムの準備が進められています。一つは秋元理事・関理事を中心とする「高齢期の意思決定支援の実務とこれから(仮)」、もう一つは中野妙子理事・嵩さやか理事を中心に「社会保障と地域社会(仮)」のテーマで準備が進められています。シンポジウムの内容や大会スケジュール等については、現在検討中です。また個別報告のエントリーも受付けております。第74回大会の個別報告は2018年10月理事会がメ切となりますので、それまでに企画委員会までお申し出下さい。

企画委員会ではシンポジウム等の企画や大会運営の在り方等について検討を進めております。会員各位からも、今後取り上げるべきテーマや大会運営のあり方等につきまして、是非ご意見をお寄せいただければ幸いです。個別報告のエントリーも随時受け付けておりますので、企画委員会までお申し出ください (ktakata@ll.u-ryukyu.ac.jp)。

学会誌投稿論文の募集について 企画委員長 高田清恵 (琉球大学)

学会誌投稿論文を募集しています。ふるってご応募ください。募集要領は下記の通りです。
なお、詳細は当学会ホームページをご参照ください (<http://www.jassl.jp/>)。

記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。
- 2 投稿者は本学会会員に限ります。
- 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、投稿者の氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、学会誌編集委員会にて決定します。
- 4 採用にあたっては、より一層内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。
- 5 原稿の分量は、原則として、14,000字(200字詰め原稿用紙70枚)以内とします。
- 6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求してください。なお、公正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現はお避けください。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いずに、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用してください。
- 7 英文タイトルおよび英文要約(200語以内)を必ずつけてください。
- 8 投稿論文は、コピーを含め3部提出してください。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。
- 9 締め切りは、2018年5月31日(必着)とします。
- 10 投稿原稿は、学会事務局気付「論文審査委員会」宛に、簡易書留にてご送付ください。

〒047-8501 北海道小樽市緑3丁目5-21
小樽商科大学商学部 片桐研究室気付
日本社会保障法学会事務局「論文審査委員会」宛

学会奨励賞候補作品の募集について 企画委員長 高田清恵 (琉球大学)

2018年度学会奨励賞候補作品の推薦(自薦も含む)を、下記の要領で承ります。
なお、推薦された候補作品は審査委員会にて審査の上、受賞者は総会で表彰いたします。

記

- 1 対象作品：2018年(1月から12月)に公刊された著作および論文
- 2 著者・筆者の年齢：当該著書・論文公刊時に40歳未満の会員
- 3 受賞者数：原則として1名

- 4 締め切り：2019年1月31日
5 推薦の宛先：〒047-8501 北海道小樽市緑3丁目5-21
小樽商科大学商学部 片桐研究室気付 日本社会保障法学会事務局

学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長 国京則幸（静岡大学）

- ・学会誌33号については、執筆会員の皆様のご協力により、現在、公刊に向けて鋭意編集中です。
- ・73回大会の2日目（5月20日）の昼食休憩時に、新体制（34号～）での編集委員会の開催を予定しております（昼食各自持参）。新委員長の下での最初の委員会となりますので、委員の方はご参集ください。なお、編集委員会詳細については追ってメールにてお知らせいたします。

日本社会保障法学会理事会議事録要旨 日本社会保障法学会事務局

○2017年度10月定例理事会（18期）

- ・日時：2017年10月13日（金）16:00～18:00
- ・場所：小樽商科大学事務棟2階 第1会議室
- ・議事内容
 - ① 第72回秋季大会の運営について（略）
 - ② 第73回大会の運営について（略）
 - ③ 第74回大会以降の運営について（略）
 - ④ 学会誌投稿論文について、9月末現在、応募がなかったと片桐事務局長より報告がなされた。
 - ⑤ 学会誌編集委員会より
国京編集委員長より、年1回5月開催に伴い、学会誌刊行時期を年内とする方向で代表理事と検討することが説明された。また、これまで学会誌に掲載してきた記事を今後はホームページ上で掲載することを視野に入れているとの発言がなされた。
 - ⑥ 新田秀樹「第2次あり方検討委員会」委員長より、規約等の改正について説明がなされた。
 - ⑦ 入会者承認、退会者報告（略：下記の「入退会のお知らせ」をご覧ください）
 - ⑧ その他（略）。

○2017年度12月定例理事会（18期）

- ・日時：2017年12月9日（土）16:00～17:30
- ・場所：京都大学法経学部本館3階 第5演習室
- ・議事内容
 - ① 第73回大会の運営について（略）
 - ② 第74回大会の運営について（略）
 - ③ 第74回大会以降の運営について（略）
 - ④ 高田企画委員長より2018年度の奨励賞候補推薦締め切りは2018年1月31日である旨の説明がなされた。
 - ⑤ 国京編集委員長より学会誌34号の投稿論文の応募締め切りは、学会誌年内刊行とすることから、2018年5月末とし、学会会報での周知では間に合わないため、学会ホームページ上で周知したい旨の提案があり、了承された。学会誌PDF版について、法律文化社からの説明として会員には配布せず、あくまでも販路拡大のため一般読者対象に販売（会員の購入も可）するものであり、その場合の価格は紙媒体と同一であることが述べられた。また、刊行案内、バックナンバー情報、「編集委員会からのお知らせ」は学会誌から削除し、学会ホームページ上で周知することが提案され、了承された。なお欧文タイトル、同サマリーの掲載については、編集委員長に一任されることが承諾された。
 - ⑥ 第19期理事・監事選挙について

片桐事務局長より11月18日持ち回り選挙管理委員会により互選で嶋田佳宏会員が選挙管理委員長に決まった旨、報告された。また、選挙要綱案についての説明がなされ、異議なく了承された。同事務局長より、理事選挙は投票期限を2018年2月7日、開票が2月10日、代表理事選挙の投票期限は3月6日、開票は3月7日であるとの報告がなされた。次に、同事務局長により、推薦理事は2018年5月19日の第19期理事会で選出され、翌20日の総会で承認を得ることが説明された。役員（事務局長、企画委員長、および、編集委員長）は2018年5月20日の昼食休憩時間に選挙理事、推薦理事で構成される理事会を開催し、その場で上記役員を指名し、かつ、企画委員を選出することが決定された。

- ⑦ 入会者承認、退会者報告（略：下記の「入退会のお知らせ」をご覧ください）。
- ⑧ その他(略)

入退会のお知らせ 日本社会保障法学会事務局

・2017年10月13日（金）、12月9日（土）の定例理事会で、次の方々の入会が承認されました。
（順不同、敬称略）

土屋武（新潟大学）、榎本芳人（北海道大学）、井川志郎（山口大学）、高波千代子（医療法人稲生会/北海道大学院）、日野啓介（株式会社 産労総合研究所）、安部敬太（安部敬太社会保険労務士事務所、早稲田大学院）、杉田浩子（早稲田大学院）

・2017年5月26日（金）、7月8日（土）の定例理事会で、次の方々の退会が報告されました。
（順不同、敬称略）

渡邊かおり、西山裕、辻村昌昭

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

○学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、皆様所属の図書館やご近所の図書館等で購入希望を出していただければ幸いです。ご注文につきましては、1号から12号までは委託事務局に、13号以降は法律文化社営業部（Tel：075-702-5830）にお問い合わせください。バックナンバー1号から12号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

○英文パンフレットについて

英文パンフレットの残部が事務局に若干数ありますので、ご入り用の方は事務局までメールでご連絡ください。

○次回以降の学会大会について

第74回大会は、2019年5月25日（土）・26日（日）愛媛大学にて開催される予定です。

○第73回大会（2018年5月19、20日）における一時保育の利用申込みについて

第73回大会においては、大会時間中の一時保育を実施いたします。この一時保育は、早稲田大学構内に開設する一時保育室にて、株式会社ポピンス（<https://www.poppins.co.jp/>）の保育スタッフが保育を行うものです。

一時保育の利用希望者は4月28日までに、杉田浩子会員（sugita@fuji.waseda.jp）までご連絡ください。なお、詳細は学会ホームページをご覧ください。

○所属・住所等の変更、会費納入状況について

現在、オンラインで会員が直接、行うことができます。詳細についてはホームページをご覧ください。